

令和2年度県営林度実施計画の達成状況について

1 概要

令和2年度県営林事業は、第2期県営林中期管理経営計画に基づき、事業地・事業体の確保による計画的な木材生産や、コストの削減、有利販売に取り組んだ結果、目標とする経常利益を確保した。

2 実施状況

(1) 成果目標

素材生産量の確保【目標 45,350 m³ ⇒ 実績 53,347 m³】

事業の早期着手や月次の工程管理を行った結果、素材生産量の目標を達成した。

(2) 主な取組

事業地の確保等に向けて、次の取組を実施した。

区 分	取 組 内 容
事業地の確保	前年度に実施した先行調査の結果を基に、施業プラン書作成、土地所有者交渉を行い、事業地（17事業地）を早期に確保した。
事業体の確保	事業体が年間事業計画を立てられるよう、まとまりのある規模の事業地を早期発注し、事業体（14団体）を確保した。
コスト削減	既存の集出荷施設に大ロットで直接出荷を行うことで、仕分け・運送コストの削減を図った。
有利販売	県内の集出荷施設等に対して、需要に応じた直接協定取引を行うことで、安定した収入を確保した。

3 事業計画と実績

木材生産の請負事業については、利用間伐は、計画に対して面積は下回ったが材積は上回り、主伐は、発注時に木材価格が下落して収益が見込めなくなったため中止した。

バイオマス材は、発電の燃料としての需要に対応し、供給強化を図ったため、計画を上回った。

立木販売及び保育については、全体の収益を勘案し、事業量を調整したため、計画を下回った。

事業全体では、面積は計画を下回ったが、材積は計画を上回った。

区 分			計 画 (A)		実 績 (B)		増 減 (B)-(A)	
			面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積
木 材 生 産	請 負 事 業	利用間伐	250 ha	15,000 m ³	243 ha	15,038 m ³	▲ 7 ha	38 m ³
		主 伐	10 ha	2,600 m ³	0 ha	0 m ³	▲ 10 ha	▲ 2,600 m ³
		計	260 ha	17,600 m ³	243 ha	15,038 m ³	▲ 17 ha	▲ 2,562 m ³
		バイオマス材	—	3,750 m ³	—	17,792 m ³	—	14,042 m ³
		計	260 ha	21,350 m ³	243 ha	32,829 m ³	▲ 17 ha	11,479 m ³
		立木販売(主伐)	80 ha	24,000 m ³	59 ha	20,518 m ³	▲ 21 ha	▲ 3,482 m ³
		計	340 ha	45,350 m ³	302 ha	53,347 m ³	▲ 38 ha	7,997 m ³
保 育			200 ha	—	176 ha	—	▲ 24 ha	—
合 計			540 ha	45,350 m ³	478 ha	53,347 m ³	▲ 62 ha	7,997 m ³
作業道開設(延長)			55,000 m	—	57,490 m	—	2,490 m	—

4 収支計画と実績

木材の有利販売を推進するなど売上高の確保に努めるとともに、流通経費の縮減を図る等により、目標とする経常利益を確保した。

(単位：千円)

区分	項目	計画(A)	実績(B)	増減(B-A)	備考(主な増減理由)	
木材生産	①売上高	請負事業	238,315	224,237	▲ 14,078	請負事業(主伐)事業量の減
		立木販売	105,600	94,823	▲ 10,777	立木販売(主伐)事業量の減
		計	343,915	319,060	▲ 24,855	
	②生産原価	233,123	225,720	▲ 7,403	請負事業(主伐)事業量の減	
	③販売管理費	168,929	149,666	▲ 19,263	請負事業(利用間伐)の仕分け、運送コストの減	
	④営業利益	▲ 58,137	▲ 56,325	1,812	①-②-③	
	⑤営業外収益	181,571	223,691	42,120	分収金(R1)の増加に伴う前年度繰越金の増	
保育	⑥営業外費用	60,023	106,637	46,614	分収金(R1・R2)の増	
	⑦経常利益	63,411	60,728	▲ 2,683	④+⑤-⑥	
	⑧販売管理費	69,927	57,077	▲ 12,850	作業道補修費の減	
	⑨営業外収益	22,090	26,109	4,019	立木補償金の増	
⑩営業外費用	3,598	3,714	116	立木補償に係る分収金の増		
	⑪経常利益	▲ 51,435	▲ 34,683	16,752	⑨-⑧-⑩	
⑫経常利益 計		11,976	26,046	14,070	⑦+⑪	
⑬特別損失		167,143	167,115	▲ 28	職員給与費確定による減	
⑭純利益		▲ 155,167	▲ 141,069	14,098	⑫-⑬ 一般会計からの繰入必要額	

5 分収造林事業の経営改革に伴う一般会計の負担

令和2年度は、県営林特別会計への繰出金141百万円と第三セクター等改革推進債償還金1,295百万円を一般会計から支出した。

(単位：百万円)

区分	年度				備考
	H25	H26~R1	R2	累計	
県営林特別会計への繰出金	—	961	141	1,102	⑭純利益の赤字について、一般会計で補填
第三セクター等改革推進債償還	—	7,838	1,295	9,133	償還期間:H26~R5 償還予定額:13,001百万円
県債権放棄額	33,264	—	—	33,264	旧(一財)広島県農林振興センターの民事再生に伴う債権放棄

6 貸借対照表

固定資産は、森林資産が25百万円増加して5,605百万円となった。また、固定負債は、借入金の返済により120百万円減少して1,073百万円となった。こうした結果により、純資産は、145百万円増加して4,417百万円となった。

(単位：百万円)

令和元年度決算				令和2年度決算見込			
流動資産	77	流動負債	193	流動資産	72	流動負債	187
固定資産	5,580	固定負債	1,193	固定資産	5,605	固定負債	1,073
〔森林資産 3,491〕 〔土地 2,089〕		純資産	4,272	〔森林資産 3,516〕 〔土地 2,089〕		純資産	4,417
計	5,658	計	5,658	計	5,677	計	5,677

※端数調整により合計が一致しない場合がある。